

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
コミュニケーション論	コミュニケーションの諸相	天野 美穂子	1 年次後期
講義の目的	人間は生まれてから死ぬまでコミュニケーションなしでは生きていけないと言われているほど、コミュニケーションは日常的で必要不可欠なものです。しかしながら、個人間のコミュニケーションを通してメッセージ・行為が理解される仕組み、(テレビ等) マス・コミュニケーションが人々にもたらす影響など、コミュニケーションの詳細については考える機会が少ないのが現実です。本講義では、現代社会にみられる様々なコミュニケーションに関して、広い視点で学び、考えていきます。		
到達目標	コミュニケーション論の基本的な概念・理論を理解し、それらを基に日常の対人コミュニケーションにおいて活用する能力や、現代社会にみられる多様なコミュニケーションに関して分析・考察する能力を身につけることを目指します。		
内容講義	コミュニケーションについて、(1) メッセージ・行為の理解の仕組み、(2) 伝達の様相・関係性、(3) 影響力、(4) 社会レベルのコミュニケーション、という4つの視点から、身近なトピックを通して学んでいきます。		
講義スケジュール	第1講	授業ガイダンス	
	第2講	コミュニケーションとは何か	
	第3講	言語コミュニケーション	
	第4講	非言語コミュニケーション	
	第5講	文字のコミュニケーション	
	第6講	自己のコミュニケーション	
	第7講	親密性のコミュニケーション	
	第8講	コミュニケーションの影響力 (1) うわさ	
	第9講	コミュニケーションの影響力 (2) 流行と普及	
	第10講	コミュニケーションの影響力 (3) 世論	
	第11講	広告コミュニケーション	
	第12講	インターネット・コミュニケーション	
	第13講	情報社会とコミュニケーション・ネットワーク	
	第14講	異文化コミュニケーション	
	第15講	まとめ	
方法指導	講義形式で行います。毎回、講義終了時に、講義内容をふまえた小課題を課します。		
授業外学習	事前学習として、各回のテキストの該当ページや配布資料（必要に応じて事前に配布する）を一読して下さい。事後学習として、授業でわからなかった内容をテキストやインターネット等で確認し、理解を深めるようにして下さい。		
成績評価方法	本試験（筆記試験）60%、平常点（授業内課題）40%		
テキスト	辻大介・是永論・関谷直也著『コミュニケーション論をつかむ』、有斐閣、2014。 他、必要に応じてプリントを配布します。		
書籍参考	橋元良明編著『コミュニケーション学への招待』、大修館書店、1997。 他、随時講義内で紹介します。		
事項記			